

家具などを取り出し、清掃活動に汗を流す参加者。瑞浪市大湫町



古民家、住民集う場に

瑞浪市で築150年の空き家清掃

NPOが再生プロジェクト イベントなど活用へ

NPO法人「グリーンバード」の瑞浪チームは、瑞浪市大湫町の旧中山道大湫宿にある築150年以上の古民家（通称西森川邸）の清掃活動に取り組んだ。今後、イベントスペースや若手作家らの作業場などとしての再生を目指す。（湯浅裕作）

同チームは月1回、同市寺河戸町のJR瑞浪駅周辺でボランティアで清掃を行っている。

古民家は現在、森川清史さん（岐阜市）が所有。50年以上空き家で、蔵や座敷などの老朽化が激しく、町の景観を市民の手で守ろうと同チームが昨年、「古民家再生プロジェクト」を立ち上げた。今後実施予定の修復・修繕作業を前に清掃活動を実施。東濃信用金庫瑞浪、稲津、釜戸

支店と十六銀行瑞浪支店、地元住民らも協力し、計約40人が参加した。二つの蔵と新座敷、角座敷にある家具や瓦、農機具などを取り出した後、掃除を開始。掃除機や雑巾を使い、3時間ほどかけて清掃に汗を流した。

同チーム代表の玉川幸枝さん（33）は、「建物を修復し、イベント

会場などとして活用できればと思う。町のにぎわいを創出するランドマークにしたい」と語った。